

## 石北本線（黄色線区）を走行する「タマネギ列車」戦略 ～ タマネギ列車（コンテナ貨物列車）の今日を知り、明日に思いを馳せる ～

### ■背景

鉄道で道外に運ばれる貨物の量は年間200万ト前後で北海道発の貨物の1割ほどに留まる、残りの9割は大量輸送が可能な海上輸送がほぼすべてを占めている。それでも鉄道輸送の重要性が強調されるのは、その200万ト前後のうち6割を農産物が占め、道外に発送されるタマネギの6割、ジャガイモと米の4割を運ぶなど、タマネギ列車で、北見から35万トが石北線を通して道外に鉄道輸送されている。

来年4月1日から自動車運転業務などの残業時間の上限規制適用が始まる。いわゆる「物流の2024年問題」です。何も対策をとらなかった場合2030年には1万人ほどの運転手が不足するという推計があります。宅配便が今まで通り届かなかったり、運賃の値上げが予想されます

この解決策の一つとして、従来のトラック輸送の一部を鉄道貨物輸送に置き換えることです。貨物列車一編でトラックドライバー65人分の荷物を一度に運ぶことが出来る鉄道貨物輸送がその威力を発揮します。

石北本線は物流を担うタマネギ列車や旅客列車が走行しているが、JR北海道は「単独では維持困難」の線区に指定し、その存廃が問題になっている。

石北本線存続運動の一つとして、タマネギ列車戦略に取り組みます。

### ■タマネギ列車戦略（価値創造ストーリー）実施計画

#### その1 タマネギ列車アピール 札幌行動

目的：

タマネギ列車（コンテナ貨物列車）や石北本線運行の存続のアピールを札幌三越前でタマネギやチラシを配布して行う

参加行動人員：

5名程度

実施時期：

新タマネギの出荷時期と4者協議の行方で

日程と行動：

前日

18：16 北見発 特急オホーツク4号 車内で夕食  
22：51 札幌着 ホテル宿泊

当日

10：00 札幌三越前で北見産タマネギの無料配布やチラシの配布（300人程度）  
13：30 道庁陳情、道商連表敬訪問、JR貨物表敬訪問  
17：30 札幌発 特急オホーツク3号 車内で夕食  
22：07 北見着 駅前解散

予算：

運賃/北見・札幌 特急オホーツク 往復 @13,170×5	65,850
宿泊/札幌 ビジネスホテルシングル @8,000×5	40,000
市内移送 タクシー	10,000
ポスター、のぼり作成	43,500
チラシ チラシ作成 500部	10,000
雑費	15,000
合計 @28,170×5	184,350

資金調達：

参加者自己負担 @15,000×5	75,000
寄付金	109,350
合計	184,350

メディア対応：

道新、NHK、STV、HBC